



女子大生に自衛隊を説明



自衛隊東京地方協力本部国分寺募集案内所（所長 木村3空佐）は11月19日、国立市に所在する東京女子体育大学において、自衛隊説明会を実施した。

当日は対象者のニーズを細かく認識するため、女子会的な座談会、女性自衛官の実体験や人生設計の紹介のほか、今年度の自衛官採用試験に合格した学生からのコメント発表を行い、担当の女性広報官や臨時勤務中で大学生と年齢も近い航空教育集団司令部の矢作佳大3空尉及び航空システム通信隊の田鍋真理子空士長との懇談により、自衛隊が身近な存在であることをPRした。

参加者からは「自衛隊は泥にまみれ、怖い、厳しいといった



イメージしかなかったが、考え方が変わった。自衛隊の中にもいろいろな仕事があり、自分に合った仕事がありそうなので、自分にもできるかもと思った」

「女性自衛官ならではの経験や考え方を聞き、女性でも自衛隊で働いていけることがわかった」

「年齢の近い自衛官と話すことができ、自衛隊を身近に感じた」

「同じ大学の身近な先輩が入隊することを聞き、頼もしく思った」等の感想があった。

国分寺募集案内所は、若者のニーズに合った方法で防衛省・自衛隊の活動について理解の深化を図れるよう、所員一丸となって任務に邁進していくとしている。

地域イベントで自衛隊をPR



自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 井上3陸佐）は12月6日、北区赤羽自然観察公園で実施された赤羽西地区合同防災訓練（防災運動会）に参加した。

この訓練は赤羽西地区の自治会連合会が主催し、「より広域な防災活動、地域の防災力の向上を目指すとともに、地域全体の防災意識を高めること」を目的としており、北区防災危機管理課、赤羽消防署、赤羽リハビリテーション病院、北区赤十字奉仕団赤羽西分団等、地域の各団体も参加した。

当日は親子連れなど多くの来場者が会場を訪れ、展示していた大型トラックの運転席や助手席に乗車すると、その大きさに驚いていた。また、大型トラックとともに展示された水トレーラーは災害派遣の報道で目にする人が多いためか、「水はどこから出るんですか？」「どれくらいの水が運べるんですか？」「どっという場面がこの車が使われるんですか？」など多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえた。会場には北区募集相談員も訪れ、来場者に声掛けをする等、積極的に募集広報活動に協力していた。

北地域事務所では、今後も地元自治会や関係機関との連携を深め、地元根差した募集広報活動を展開していくとしている。